

第2回知立市総合計画審議会 議事録

令和5年12月13日(水)

午前10時～正午

知立市役所 3階 第2・3会議室

【次第】

1. これまでの取組について
 - ・アンケート調査結果
 - ・第6次知立市総合計画施策評価
 - ・市民ワークショップ・職員向け勉強会
2. まちづくりの方向性の検討について
3. その他

【出席者】(敬称略・順不同)

鈴木誠(会長)、坂本真理子(副会長)、高橋敦子、永井淳子、三浦祥志、三宅守人、新美文二、越智さや香、高木香津恵、松田斉、野本照人、甲斐春美、山下徹也、竹内博之、石原國彦

【欠席者】なし

【事務局】

企画部長、企画政策課長、地方創生SDGs係長、地方創生SDGs係主事

【傍聴人】 0名

【議事概要】

進行：副会長

1. これまでの取組について

事務局より、資料について説明

新 美 委 員	・アンケートの中で、誇りを持っている人が少ないという結果が見られましたが、今回のアンケートにおいて誇りや愛着とは具体的にどのような内容が想定されるのでしょうか。
事 務 局	・回答者によって様々な要素が含まれていると考えます。属性や知立市に居住した経緯、まちでどのくらい活動できているかという点も関係します。また、「希望する暮らしが叶っているか」といったウェルビーイングの視点なども影響することが考えられます。
副 委 員 長	・愛着・誇りの点数について、年齢以外の属性の違いによる特徴などは分析されていますか。
事 務 局	・必要に応じて追加分析します。
新 美 委 員	・難しいとは思いますが、愛着や誇りがどのような経緯で形成されるのかを掘り下げられると良いと感じました。30代の点数が低い要因は何が考えられるのでしょうか。
事 務 局	・家を購入するタイミングで転出される傾向にあり、その世代が概ね30代であると考えられます。出入りの多い年代であることが、点数の低下にも繋がっている可能性があります。愛着や誇りは、働く場所が少ない地域では20代の点数が下がるなど、地域環境による一定の影響が表れる傾向があります。

山下委員	知立市以外に居住している人は、今回のアンケートをどのように知ったのでしょうか。市内外で回答結果に違いや傾向は見られますか。
事務局	- 知立市以外に居住する人は、市の公式 LINE に登録している人や包括連携協定を締結している企業や大学からの周知などで知った人などが想定されます。 「暮らしていくうえで重要と思うこと」「知立市にあてはまると思うこと」「開発中の知立市周辺でできるようになると良いこと」はすべての対象者に聞いていますが、他の設問は知立市内の居住者のみを対象としており、愛着や誇りなどについては知立市民の回答であると認識していただいて問題ございません。
山下委員	共通の質問で結果が異なるものについて、分析はしていますか。
事務局	今回の資料では特筆すべき点のみ掲載をしているため、顕著な違いは確認できなかったものと認識しています。
越智委員	日本語を読解できない外国人もアンケートに回答できたのでしょうか。
事務局	アンケート調査票は複数言語（ポルトガル語、中国語、英語など）に翻訳して展開したほか、自動翻訳アプリ「カタログポケット」への掲載、外国人相談窓口に翻訳版を置きました。ポルトガル語での回答が1件あったことを確認しています。
越智委員	外国語で回答した人は、1871 件のうち1件ということでしょうか。
事務局	そのとおりです。外国語で回答されていることを見て確認することができるのが1件ということです。
会長	- 資料の 41～42 ページの内容は、今後総合計画を検討するうえで考えるべき重要な点だと感じました。 - 特に住宅政策については、マイホームを購入するタイミングで条件に合った土地や物件がないという現実にはぶつかり、周辺地域に生活拠点を移さざるを得ないという点が見えています。特に女性でその傾向が見られています。 - 対策の方向性として2つの選択肢が考えられると思います。1つ目は、新しい住宅が建てられるような土地政策を検討することです。もう1つは高齢者等の自宅・土地を将来的に若い世代に提供してもらうような仕組みづくりも考えられます。具体的な意向調査などをしながら、若い世代に希望を持ってもらえるような取組を開始しなければならない段階だと思います。

2. まちづくりの方向性の検討について

竹内委員	知立市はコンパクトでありながらも、中心市街地と周辺部の住環境には大きな差があると感じます。高齢社会の中で交通インフラが課題となっていますが、住みやすい環境をつくるという視点でも検討していただきたいです。市全体の住環境整備が後手に回っている印象があります。
松田委員	地域に魅力が生まれることで、愛着も向上すると思います。知立市の難点は、アンケート結果からわかるように素敵なお店が少ないといったことだと思います。周囲から羨ましがられるような魅力づくりについても検討いただきたいと思います。
副会長	知立駅周辺の再開発に関する構想はどのくらいまで固まっている

	のでしょうか。
事務局	本日、資料のご用意がありませんが、知立駅周辺では連続立体交差事業や土地区画整理事業等のハード整備が進んでいます。
三浦委員	- 知立駅を普段から使っている人とそうでない人では、駅周辺の再開発に対する関心に差があります。普段から知立駅を利用している人の意見が重要だと感じます。 - 市民ワークショップでは、ATM がないことによる不便さや防災拠点としての活用、2階部分を活用した空間づくり、駅のシンボルをつくることなど、若い世代から様々な意見が出ていました。会議での検討も重要ですが、一般の住民の方も含めたワークショップ等で情報収集することも重要だと思います。 - また、アンケート回答者のうち外国人の割合が非常に少ないのは違和感があります。外国人の割合は7%程度であり、共生の視点を踏まえると、人口構成に応じた回答数が得られても良いと思います。
副会長	アンケート以外の情報も含めて、外国人の方の声も計画に活かしていただけると良いと思います。
高木委員	- 知立市は災害が少ないと考えている人も多いですが、南海トラフ地震が発生した際には被害が出ることが想定されています。災害の心配がないという認識が先行してしまい、逆に防災意識が低下しないように NPO や行政が市民に伝えていくことが重要だと感じました。 - 自身が家を購入した時と比べると、現在は価格が上昇していると感じます。市としてどのように対応していくのか、期待したい点でもあります。 - 以前は子どもと一緒にゆっくり過ごせる親子カフェなどがありましたが、現在は閉店しているところもあり、地域にそうした場が少ないように感じます。知立駅前などにそうした場所ができると良いと思います。
甲斐委員	- 以前にも河川の氾濫リスクが高まった時がありましたが、そのような場合に行政が周知することに加え、水位の定点カメラを設置するなど、市民自身が状況を確認できるような環境づくりも重要だと思います。ケーブルテレビ（KATCH）で、河川の様子は分かりますが、自宅付近を写しているカメラが少ないです。 - 住みやすい環境を考えるうえでは、日用品を購入できる場所が重要だと思います。安城市に大型ショッピングモールができると、知立市内の商業施設が衰退してしまわないか懸念があります。おしゃれなお店などがあると良いですが、駅周辺の整備を考えるとスーパーなども重要ではないでしょうか。 - また、知立駅へのアクセスが良くない地域もあります。例えば、市民特典として、知立駅周辺の駐車場代が割引されるなどの仕組みがあれば、様々な市民が集まるきっかけになると思います。
副会長	- 災害が少ないことは魅力ですが、災害対策にしっかりと取り組んでいるという点が魅力になっていくと良いと思います。 - 知立駅周辺の整備において、日常生活を支えるという視点も入れられると良いというご意見でした。
高木委員	住民の方には、ハザードマップを見ていただくことと、河川のリアルタイムカメラが既にあるため、ケーブルテレビ KATCH を観ていただくと良いと思います。
永井委員	愛着・誇りに関する調査結果は納得しました。今後の知立市を考え

	ると知立駅周辺の再開発など楽しみな面も多いと思います。 • まちづくりの方向性として、10年後にこうありたいと思うことは数えきれないほどあります。小学生の子どもも10年経つと成人になります。どのような経緯や考え方で10年後の知立市が作られていくのかを子どもに知ってもらうことが重要だと思います。ワークショップにも、より若い世代に参加いただけると良いと思います。 • ハード面の変化は目に見えやすいですが、ソフト面は見えづらく、中長期的な投資が必要になります。以前と比べて地域の繋がりなども希薄化されているように感じ、人と人とのつながりの面も考えていく必要があると思います。人のつながりがあって、まちづくりは完成するものなので、ハードとソフトのバランスを考えて検討いただくことが重要だと思います。
高橋委員	• 希望する暮らし方はそれぞれの状況などとも関係すると思いますが、アンケート結果からもわかる通り、「祭りやご近所付き合いなど地域社会のつながりを大切にする」といった部分は急速に関心が弱まってきている現実があります。 • 一方で福祉の視点で考えると、今後、介護保険サービスのみでは支援が行き届かず、住民同士の支え合いも必要になってくることが予想されます。 • 私自身、もともと馴染みのなかった知立市に転入して、これまで住み続けられているのは、近所や周囲の人の支えがあったからだと感じています。誰もが安心して長く住んでもらえるという視点をもって検討いただきたいと思います。 • ソフト面の取組も大切にして、若い世代にも知立市を好きになってほしいと思います。
石原委員	• 若い世代が愛着・誇りを持てるようなまちづくりが重要だと感じています。知立市は総合計画の中に将来都市構造図が記載されており、それをもとに都市計画マスタープランが策定されます。その1つとして知立駅周辺の開発が進んでいます。現時点では具体的に何ができるのかイメージしづらい印象があります。 • 駅周辺という人が集まりやすい場所において、形として分かるような整備を早く進めることは重要だと考えます。JR安城駅や名鉄新安城駅周辺、JR刈谷駅の周辺を見ても、にぎわいがある場所に様々なものや人が集まってきて活性化につながっているものと感じます。現時点ではそういうものがまだ見えていないように思います。 • 将来都市構造図にもありますが、知立駅周辺のみでなく、駅から離れた地域においても幹線道路の沿道に企業や商業施設を呼び込むなど、賑わいにつながる計画を早期に進めていただきたいと思います。 • 特に八橋地区では買い物に困っているという声をよく聞くため、商業施設などができると良いと思います。
野本委員	• 議論を踏まえて住宅政策の重要性を認識しました。そのうえで魅力を感じてもらえるような資源があると良いと感じました。 • 青年会議所としても知立高校、知立東高校の生徒に学習スペースを提供しています。知立市に来ている学生は多いが、通学しているだけで知立市のことを知らない人も多いと思いますので、知立市を知ってもらうきっかけになればと思います。 • 住宅価格の高止まりは今後も続くことが予想されるため、それでも住みたいと思ってもらえるような魅力があると、活性化につながる

	と思います。
越 智 委 員	・私自身も住宅を購入するタイミングで知立市から転出しました。外国人にも住宅購入のニーズが出てきていますが、土地の価格が高いため、周辺地域に転出する人が多いです。 ・一方で、外国人が多い昭和地区などにも魅力があることを発信しないと、誤った印象を持たれてしまうことにつながるのではないかと懸念しています。国際理解教育をわざわざしなくても、知立東小学校では普段の生活のなかで学ぶことができます。そのような日々の生活の中で自然に体験でき、それを魅力に感じる人も少なからずいるため、こうした魅力を積極的に発信することが重要だと思います。 ・魅力的なお店なども大切ですが、子育てしやすいまちとして選ばれるのは、医療費、給食費、保育園の入園のしやすさが充実していることが重要だと感じます。 ・誰一人取り残さないためには、あらゆるマイノリティが、本当に取り残されていないのか、実態を適切に把握することが重要だと思います。
三 宅 委 員	・私も土地が高いという認識はあります。
山 下 委 員	・ソフト面は難しい部分もありますが、重要だと感じます。知立新地ドリームパーク（新地公園）のドリームイルミネーションが開催されていますが、子連れの人が多く集まっており、出店もあり賑やかでした。こうした場所で市民同士の交流を生み出せると良いと感じました。 ・知立駅には居酒屋は多いですが、昼に食事できる場所が少ないと思います。知立駅から離れた場所に住んでいる人への対応として、例えば、若い世代については乗り捨て可能な自転車を設置することなども考えられると思います。また、高齢者の方にはオンデマンドバスを使用してもらうなど、市内の様々な場所から駅に集まることができる環境をつくることで再開発の効果を市内全域に波及させることができるのではないのでしょうか。
副 会 長	・まちづくりの方向性の基盤的となるようなご意見や、具体的な提案などもいただきました。議論を踏まえて、会長からコメントいただきたいと思います。
会 長	・知立市は周辺に比べてコンパクトであり、中心市街地と郊外の距離感も他の地域と比べれば大きくありません。こうした特徴のメリットとデメリットを整理することが重要だと感じました。 ・知立市のようなコンパクトシティで人口が7万人いるということは、人が顔を合わせる機会が多いことが予想されます。そうしたことにストレスを感じることもあると思いますから、家に帰る前に一息つく空間が欲しいというニーズにもつながるように思います。 ・一方で、コンパクトであるからこそ、共助による社会サービスが生まれやすいまちであるとも言えます。必ずしも移動販売や移送サービスについて考えなくても、NPO や地縁組織が中心となって共助による解決を目指すことも選択肢になり得ます。 ・30 代が転出してしまっていることを踏まえると、この世代に対して集中的に公共サービスによる支援を考えていくことが重要だと考えます。10 年後のことを考え、現在の 10 代後半～20 代後半くらいの世代のニーズを具体的に把握し、施策を考えることが重点的な取

	組になるのではないのでしょうか。その一つとして住宅政策が挙げられます。例えば、リバースモーゲージのように社会福祉協議会や金融機関の力を借りた仕組みづくりなども考えられます。その他の世代には、民間サービスの組み合わせや共助の取組による解決策の検討が重要になってくると思います。
新 美 委 員	- 第6次総合計画においても住宅政策について記載されていますが、こうした取組の進捗状況がどのようになっているのかを確認することが重要だと思います。 - 知立駅周辺の再開発においては、高架工事により創出されたスペースを有効に活用する方法を検討していく必要があります。 - 市民にもっと関心をもってもらい、その声を反映していくことが愛着や誇りにつながるのではないのでしょうか。アイデアはワークショップなどで既に出尽くしていると思います。資材や人件費が高騰していますので、早期に決定して実行することが重要だと思います。 - 土地や住宅は、需要と供給の関係で価格が高まっていると思いますが、知立駅周辺の容積率を上げていくなど、供給量を高めていく取組も必要であると思います。機会があれば商工会のビジョンも確認したいと思っています。
事 務 局	- 知立市の10年後を考えるにあたり、知立駅周辺の再開発は欠かせないと考えています。 - 河川の状況については、愛知県のホームページに、「愛知県 川の防災情報」が掲載されています。誰もが見られるようになっていますが、改めて市の方からも発信したいと思っています。 - 本日はテーマが多岐にわたりましたが、いずれも貴重なご意見をいただきありがとうございました。

3. その他

事務局より次回以降の会議日のお知らせ

第3回 令和6年3月7日(木) 午前10時～正午(中央公民館・リモート併用)

事務局より委員報酬のお知らせ

以上